



ヨットレースは、海上のマーク(うき)をいかに早くまわってくるかを競うスポーツです。



スプリングカップ in YASU、3月22日~23日 夜須町沖で開催です。ヤシパークに双眼鏡を持ってレッツゴー♪

3月おはなし会

野市

絵本読み聞かせ：8日・22日(土)
おはなしの会：5日・19日(水)

香我美

なんじゃもんじゃ：1日・22日(土)
プチなんじゃもんじゃ：15日(土)

おいでよ!まちの図書館へ

休館(室)日
(香我美図書館) 3月/3・9・10・13・17・20・24・31
(野市図書館) 3月/3・10・13・17・20・24・31
(夜須図書館) 3月/20
(吉川図書館) 3月/2・9・16・20・23・30

香我美図書館より ☎ 55-0022

「なんじゃもんじゃ」に来てね!

香我美図書館では、毎月第2・4土曜日に幼稚園~小学生向けおはなしの会「なんじゃもんじゃ」を、第3土曜日に4歳くらいまでの小さな子ども向けの「プチ・なんじゃもんじゃ」を行っています。参加したら出席カードにスタンプを押し、スタンプがたまったらプレゼントがあります!たくさんの参加をお待ちしてま〜す。

(ボランティアさんも募集中です!詳しくは香我美図書館まで)

『お帰りなさい朝青龍』 内館牧子/著

2007年の角界は、朝青龍の「仮病疑惑サッカー事件」と時津風部屋の「リンチ暴行致死事件」で揺れに揺れました。相撲を愛し、力士を愛し、相撲史を愛する日本相撲協会の横綱審議委員・内館牧子さんが、朝青龍や相撲について書いたエッセイをまとめた本です。

タイトルの「お帰りなさい」...はてさてどこに? 辛口ながらも内館さんの相撲を愛する気持ちがたっぷり詰まった1冊です。



新着案内

毎月第2土曜日のなんじゃもんじゃは、今月は第1土曜日に変更しています。

《大人向け》 《子ども向け》

- キュア 田口ランディ/著
- ワンちゃん 楊逸/著
- TOKAGE特殊遊撃捜査隊 今野敏/著
- はじめての自宅レストランオープンBOOK パウンド/著
- ラジオ・キラー セバスチャン・フィツェック/著
- こんなふうには作られる! ビル&ジム・スレイヴィン/文・絵
- かきやまぶし 内田麟太郎/著
- 小さなお城 サムイル・マルシャーク/著

3月の展示 手作り作品展 3月15日(土)~30日(日)

吉川図書館より ☎ 55-0525

もう一度、あの感動に出会うために本を読み返してみませんか?

吉川図書館には新しい本はあまり入りませんが、感動の詰まった本がたくさんあります。ぜひ、思い出の本を、もう一度読み返してみてください。



図書室オススメ本

- 《大人向け》 沙門空海 唐の国にて 鬼と宴す 1~4巻 夢枕 獏/著
- 難儀でござる 岩井三四二/著
- 風の大地 全17巻 坂田信弘/作・かざま鋭二/画
- 《子ども向け》 ひゃくおくえんのぼうし 後藤竜二/文・花井亮子/絵
- おばあちゃんはおばけとなかよし 角野栄子/作・わたなべあけみ/絵
- 鉄腕アトム 全21巻 手塚治虫/著

「動物園の動物病院」の巻



のいち動物公園 ☎ 56-3500

動物園の園路からは観覧できない裏側に動物病院があります。動物が動物病院に運ばれる時は、治療の他に検査や入院が必要な場合です。



足を骨折したフラミンゴを治療中

今月で「動物のおはなし」のコーナーはおしまいです。のいち動物公園のスタッフならでは動物たちのおはなしはいかがでしたか? 2年間、ありがとうございました! 次回から「香南市観光協会」に香南市のあれこれを紹介してもらうコーナーがはじまります。お楽しみに!

動物病院の心臓部分は何といても診療室です。診療室ではほとんどの野生動物が麻酔を施されて運ばれ、レントゲンなどの精密検査とセットで治療を行います。救急の場合は即座に設備の整った診療室に運ばれ、救命措置が行われます。病気やケガに限らず、動物の未熟な新生児なども受け入れられるように保育器も完備されています。また、動物が死亡した場合、その死亡原因を究明し野生動物の医学に役立てるために解剖室や標本室もあります。

毎月第2日曜日に開催される「動物園の裏側探検」では、飼育動物の裏側だけでなく、動物病院を見学できるコースがありますので動物園までお問い合わせください。

獣医師 片岡雅美



動物病院への裏側探検コース

文芸

野市短歌会

- 見廻りのナースが窺う灯りあり隣の寢息聞く夜の長さ 小松 宏子
- 花の香のほのかな庭に降り立てば二千八年の初日燦爛 池知つたえ
- どことなく似ている犬を引きひかれ挨拶交わす朝の農道 金谷もと江
- 山頂に二十の風車陽に映えてゆるりとまわる初春の朝 中根 純子
- 年明けの受付嬢の和服すがた老患多きロビー和ます 野村 静
- 蹴初めの土よりのぞく春の使者つくしに季の移ろいを知る 野口 道
- 独り生くることの大事を父母にはらからに告ぐ神を頼みて 国吉 寿亀
- 生き生きと夢ある社会を忘れずに集いて語る希望の門出 野崎千重子
- 青い目のハーフの猫を海老蔵と少女は呼べり綺麗な声に 窪田すず子
- 家中に柚子の香みちて細やかな幸せいろのジャムの出来ゆく 上窪美津子